

3

(4)

沖繩作戰
二於
海上挺進第一戰隊史實資料

廣岡時良

昭和二十二年三月二十五日
第三十二軍残務整理部

三十一日 晴 風 雲 霧 雨 雪
三十二日 晴 風 雲 霧 雨 雪

三十三日 晴 風 雲 霧 雨 雪
三十四日 晴 風 雲 霧 雨 雪

一部 概要

三十一日 晴 風 雲 霧 雨 雪
三十二日 晴 風 雲 霧 雨 雪
三十三日 晴 風 雲 霧 雨 雪
三十四日 晴 風 雲 霧 雨 雪

動員 下今

三十一日 晴 風 雲 霧 雨 雪
三十二日 晴 風 雲 霧 雨 雪
三十三日 晴 風 雲 霧 雨 雪
三十四日 晴 風 雲 霧 雨 雪

四月十一日
四月十三日

第二次ノ攻具ヲ受ケ部隊ハ崩壊ス

一 戦闘経過ノ概要

敵上陸前ニ於ケル我方ノ情况
座間味島上陸以來艇ノ積置作業 整備ニ専念セルヲ機軸本島降参
算ノ爲作業意ノ如ク進捗セズ 敵上陸前ニ概成ヲ見ケルモ降参ノ名
約半數崩壊セリ

陸上戦士ノ爲ノ陣地ハ僅方ニ防空壕程度ニ過ぎテ兵力ハ十九年選
末迄戦隊約一〇〇名 勤務隊約一千名ニシテ兵力ハ可ナリ充實ス
シアリモ 勤務隊ヨリ主力約八〇〇ヲ中島本島ニ引抜カレ、之ニ替ルニ
朝鮮軍天ヨリナル水上勤務隊末島セリ
部隊名 人員 兵器
戦隊 一〇〇名 各人艇軍力、拳銃、爆雷、手榴彈一

勤務隊 二五〇名 重機二輛、橋五、小銃一五〇、擲彈筒二
水上勤務隊 八〇〇名 (内軍夫七五〇名) 小銃三〇、擲彈筒一〇
船舶工兵 一ヶ小隊 不明

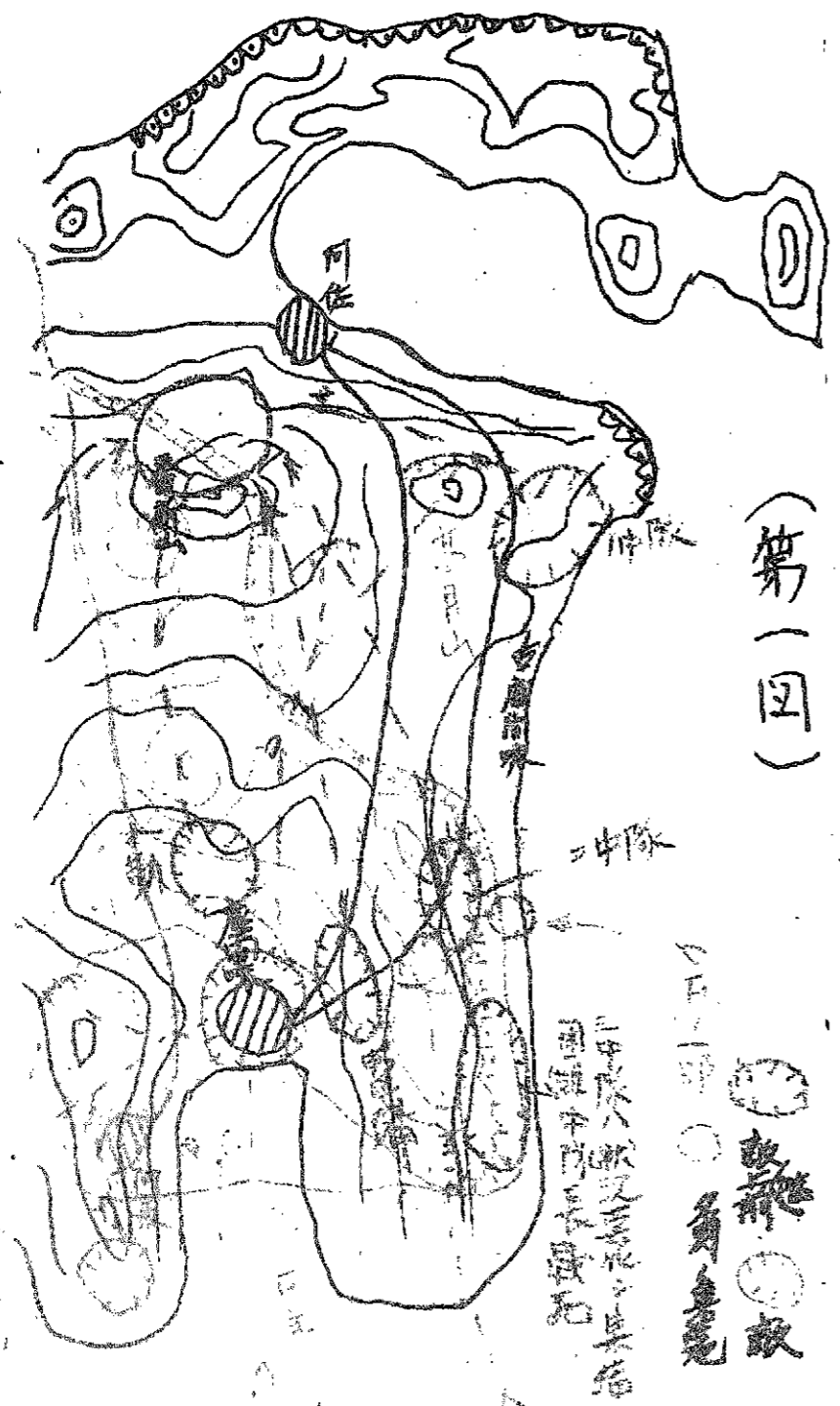
二 戰鬥概況

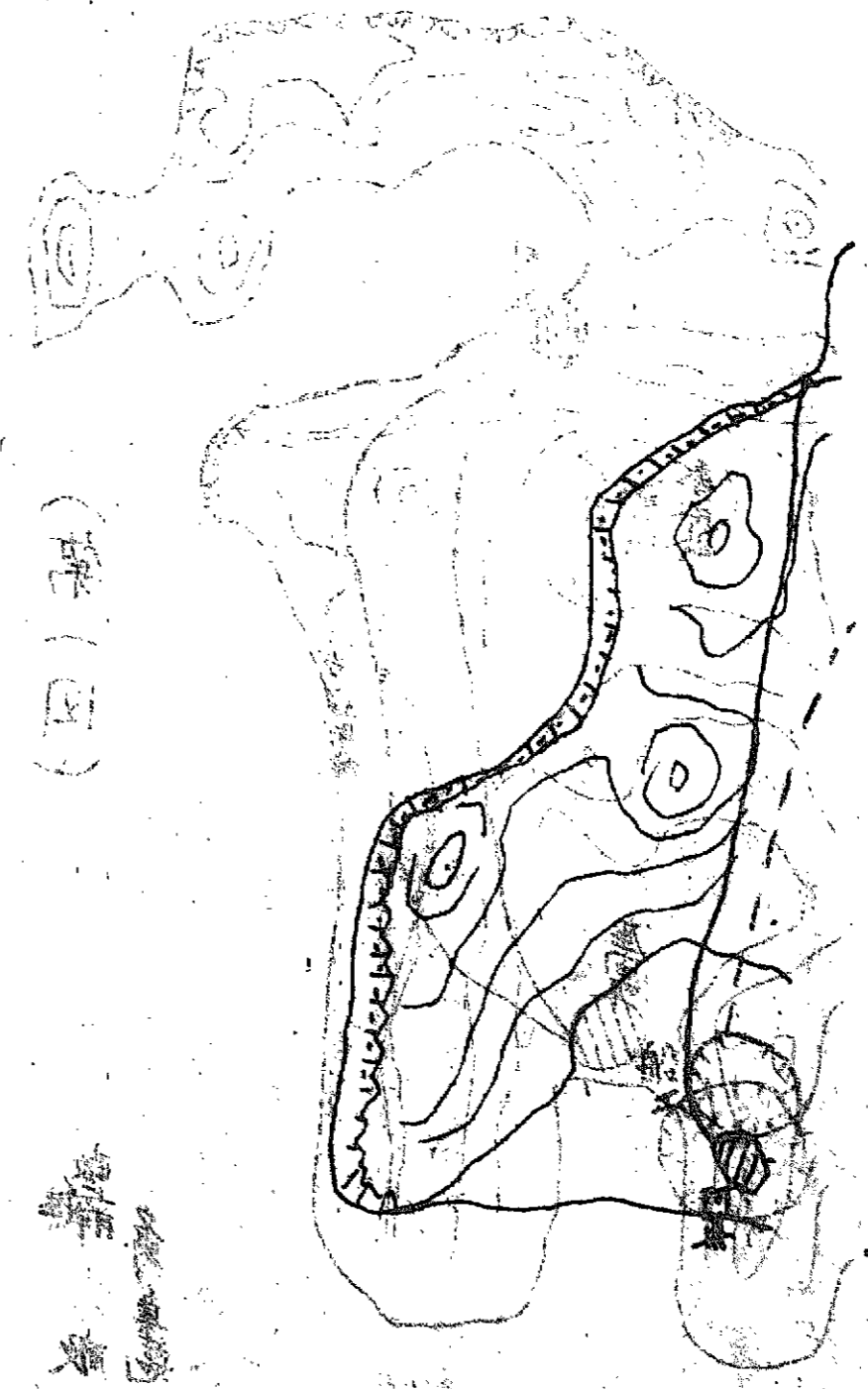
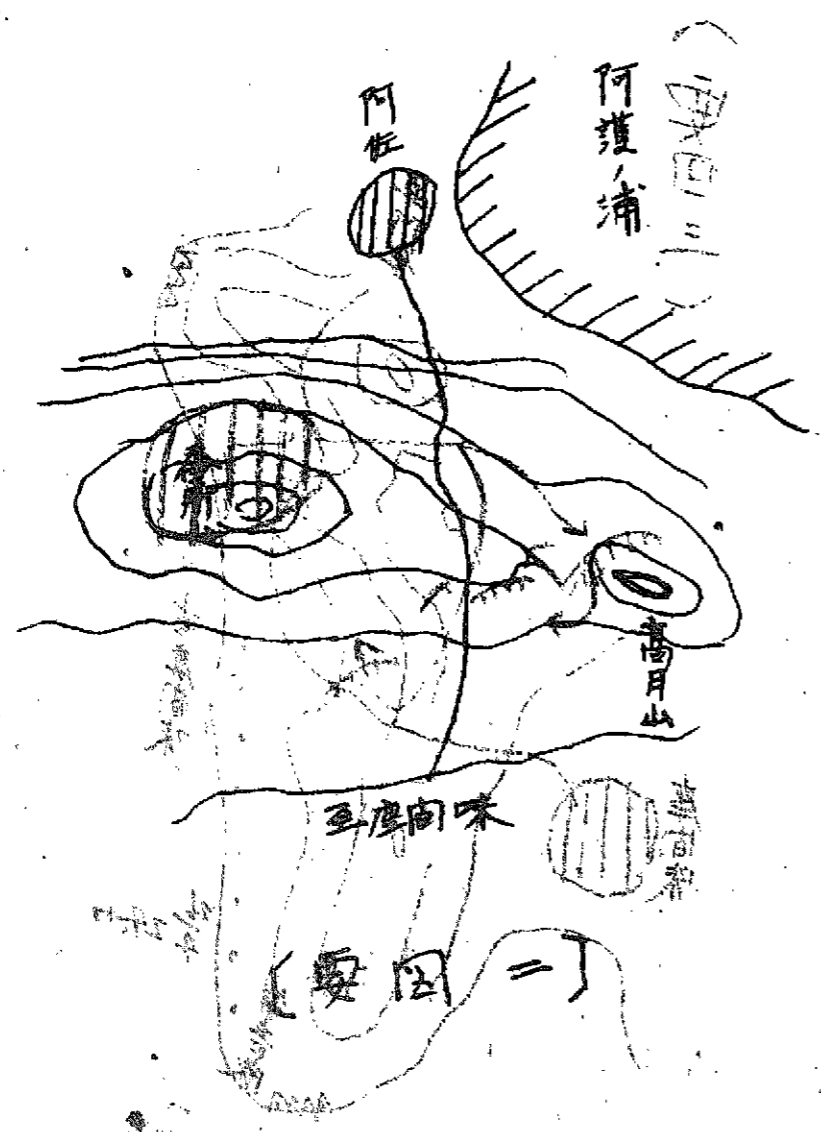
突撃部隊上陸後ヨリ約十日間部隊ト連絡杜絶シ歸隊後見聞モナシ
三月十日ヨリ三日間ニ亘ル迄山麓原裏ノ復讐下ニ本隊内用戰車分乘シ
九〇〇座間味正面及七古座間味ニ互ル間ヲ上陸開戦セリ(要領一)
或方ニ應戦水際軍艦ヲ期セシモ知力ハ差支合 任務ヲ精練シ
物量ヲ待テ攻勢ニハ如何トモナシ難ク徒ラ我損害ヲ招クノミナ
部隊命令ニ依リ奮然シテ本島ニ戦後ノ戦ヲ準備ス
集結ニ依リテ艇ノ使用不能ナラシメテ、利存セシメテ破壊ス
三月十日及十一日
敵上陸前ニ於ケル我方ノ情况
座間味島上陸以來艇ノ積置作業 整備ニ専念セルヲ機軸本島降参
算ノ爲作業意ノ如ク進捗セズ 敵上陸前ニ概成ヲ見ケルモ降参ノ名
約半數崩壊セリ

集結シテリル部隊ノ夜暗ヲ利用シ、一、二中隊ノ順ニ切込ヲ敢行ス。一
 同ニ勝ヲ信シ、夜暗ヲ利用シテ急進シ、膠州ヲ陥ル。我々ノ前進ニ敢行ス。膠州
 イマシメ、概爾三三集結、敵ヲ後退セシメ、多大ノ損害ヲ與ヘシ。我々ノ
 中隊(伊藤隊)全滅、二中隊(安部隊)僅カニ存存シ、遺棄ス。本夜、
 切込ノ遠方ヨリニ、砲聲響ク、奇襲シ、我々ニ驚愕シ、思ハズニ、
 要図ニ

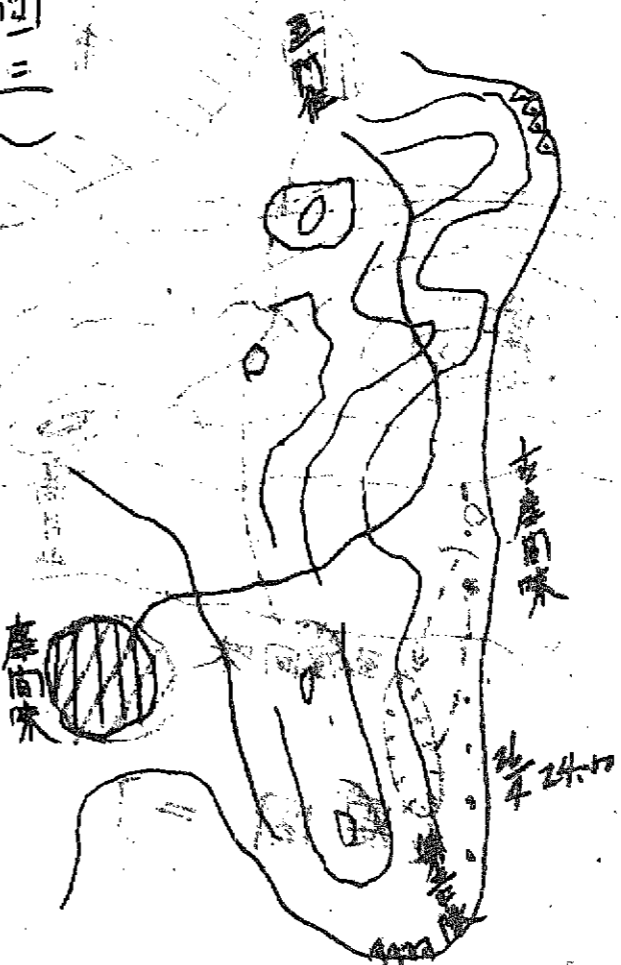
第三中隊ハ、砲聲ヲ聞キ、集結ニ集合セシメ、古厓同味ヲ見テ前進
 中隊ニ遭遇シ、中隊長以下白刃ヲ振リ、奮戦ス。中隊長以下、數人ノ
 死者ヲ出シ、小隊ノ村ノ南端下出、我々ニ戻還ス。(要図ニシテ)

自三月二十日、至四月九日
 爾後再ニ切込ヲ敢行シ、我々ハ日本軍ヲ対シ、處置適切ニテ、意ヲ
 去ス。阿左西方高地ニ陣地ヲ占領シ、テ小部隊ヲ以テスル。切込ヲ曾幾ナリ、
 敵隊ハ兵力著シク消耗シ、テ、我々ニ對シ、間者軍曹ヲ長ク、切込隊ヲ編成シ、
 所ハ附近ノ敵陣ヲ攻撃シ、其間ニ於テ、我々ニ對シ、要図四ノ如シ





(三回圖)



此乃... 摩可來... 古德田來... 24.11

備考 比一向整備中隊長の藤中尉の切込ハ實ニ剛膽ニテ座向未部

落ニ至リ敵ハ躊躇ヲ蒙ラシメタリ(土兵ハ言ニ依ル)

四月十、十一、十二日 敵ハ十日ヨリ第三夜ノ攻撃ヲ開始ス(夜四時五、
如シ)之ニヨリ部隊ハ指揮崩壊ス 敵ハ

十日 阿佐平地

十一日 大森海岸

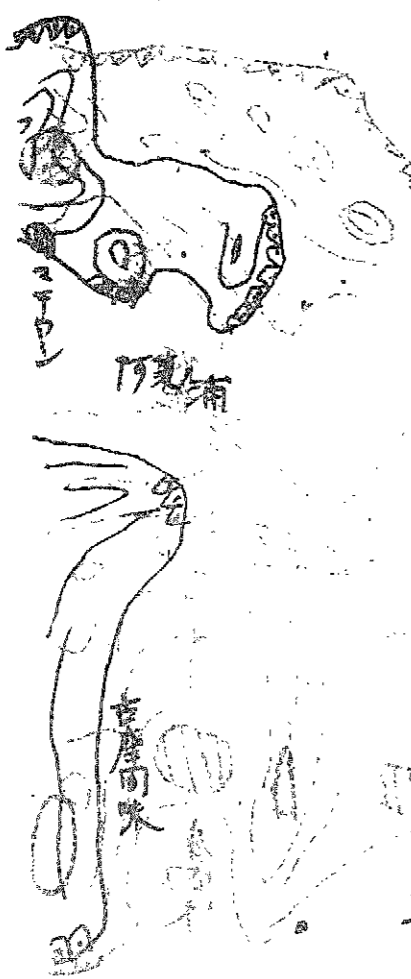
十三日 マチヤシ方面

ヲ攻撃シ来ル

以上要約スニフイリソシニ於ケル経験上 敵ノ海上挺進兵 非意ハ敵
底シ 使用不能ニ留リタリ 座向味島ニ於テハ 陸上戦斗ハ考慮外ト
言フテ過言ナシナル程度ニ考慮シテラカレタリ 陸上戦斗ニ於テハ 陣地、
無キヨリ 艇ノ保全ノ為ニ本格的ナル植戦ヲ實施シ得ズ 夜間ニ至リ
情況逼迫セシヨリ 残存艇ヲ破壊シ 香所山ニ集結 一、二中隊ハ壯烈ニ
切込ヲ敢行 爾後 阿佐西ガ高地ニ陣地ヲ占領シテハ 小部隊ヲ以テ

切込ヲ反覆實施シタリタルモ、敵ハ十、十一、十二、三日間ニ亘リ攻
撃シ来リ、部隊長員傷シ 指揮ハ崩壊シ 爾後ハ 攻撃ノ機失タラント
水中ニ沈没セリ

猶戦隊ノミニ付テ記セシモ 勤務隊、整備隊、船玉水上勤務隊、木置屋
部隊モ密接ナル協力ノ下ニ 陸上ヨリ 戦戦ヲ展開シ 阿佐西ガ高
地ニ陣地ヲ占領シ 切込ヲ實施中モ 敵田ニ亘リ 奮猛ナル切込ヲ敢行シ
前述ノ如ク 整備隊長ノ切込ハ 勇毅沈著 敵ノ心膽ヲ寒カラシメ
タリ



以上



[要圖法]

此圖係根據解剖學之原理，將人體之主要器官，以簡便之方法，繪成此圖。其目的在於使學生能迅速了解人體之構造，並作為教學之參考。

本節位置

西真

李南木